

平成 16 年度 第 2 回 環境利用学習専門部会

日 時：平成 17 年 3 月 2 日（水）13：30～16：30

場 所：沖縄市産業交流センター

欠席者：なし

< 議 事 概 要 >

1. 第 1 回専門部会における課題とその対応の確認

・特になし

2. プログラム抽出及び施設整備・維持管理・運営について

「アンケート及びプログラムについて」

地域住民には、泡瀬の自然環境に無関心な人も多いため、まず地元住民から啓蒙していくことが重要であるとの意見が出された。

環境利用学習実施における費用面及び時間面の問題は克服できるものであり、今後は実際に行動に移すことが必要であるとの意見が出された。

現実に環境利用学習を動かしていく中心的人材が必要である。特に行政や先生から出てきてほしい。したがって、広く公募することが必要である他、今回アンケートを行政に対しても行うことを望むとの意見が出された。

プログラムの中にあるマングローブ染めは、現状のマングローブ林の規模を考慮すると望ましくないとの意見が出された。

泡瀬版のティーチャーズガイドブックを作るべきであるとの意見が出された。

野外観察は天候に左右されるため、野外活動ができない天候の際の代替となるサブプログラム作成が必要であるとの意見が出された。

「施設整備・維持管理・運営について」

【施設整備】

施設整備における観察場所設定については、周辺地域住民の生活にも配慮することが必要との意見も出された。

施設整備における観察壁は大げさにならないよう、フクギ等植栽による自然な形態が良いとの意見が出された。また、観察路も小規模なものがよいとの意見が出された。

施設整備は、多様な利用者層に配慮したものとしてほしいとの意見が出された。

沖縄市には環境利用学習のための中核的施設がないため、環境利用学習が広がらない側面もある。施設があれば登録制度や資機材の貸出などにも対応可能との意見が出された。

【維持管理・運営】

沖縄市においては、現在、生涯学習に関わる講師の登録制度があり、今回提案のあった登録制度も、これとの連携や調整を図ることがよいとの意見が出された。

必要な資機材が不足しており、資機材を用意できる仕組みがほしいとの意見が出された。

泡瀬の特徴を踏まえた利用・安全面に関するルールづくりを検討する必要があり、保険加入等の問題も含めて、今後の課題に整理すべきとの意見が出された。

市教育委員会とのタイアップによる環境利用学習によって、泡瀬のイメージを変えていくことが必要であるとの意見が出された。

総合学習において環境学習にも積極的に取り組むために、市教育委員会にプロジェクトチームをつくることが望ましいとの意見が出された。

泡瀬における環境利用学習のPRのためのホームページの早期開設を望むとの意見が出された。

泡瀬地区における環境利用学習の中心となるべきは、地元住民・地元自治体であり、退職職員等によるネットワークを活用する方法もあるとの意見が出された。

人材育成が重要であり、既往のリーダー養成カリキュラムを活用することが望ましいとの意見が出された。